



No.002

## 鴨川の床涼み〜六月〜

風そよぎ、水とたわむる、夏の夕暮れ

京の町では、五月の初めから九月の終わりまで、水辺に木のやぐらを組んで、涼をとる習慣がある。貴船や鞍馬の奥座敷では「川床」と書いて「かわどこと」呼ぶが、鴨川沿いは「かわゆか」と呼んでいる。二条大橋より五条大橋の辺りまで、百軒を数えるお店の床が鴨川沿いにずらりと立ち並ぶ。畳に座卓の設えもあれば、板張りにパラソルテーブルの設えもあり。川床めぐりは初夏の京都の楽しみのひとつだ。

床でごはん食べをしながら鴨川を見下ろすと、目に映るのは川べりに並んで座る恋人たち。可愛らしい少年少女から熟年カップルまで、ものの見事に等間隔に並んでいる光景は、酔客さえも唸らせる。恋の神様の物差しによる采配か。

七月の初旬、この川床で舞妓さんをあげて宴を楽しむのが、京の旦那衆のステイタス。その後は必ず涼しい室内で次のお席を設えてあげる。「暑かったなあ、ようよう涼みや。」京の旦那衆はなんと女性に優しいことか。川床だけに、家の外での話ではあるが。

### ひいさま (松根裕美)

京都生まれ、京都育ち。学生時代は日英を問わず朗読や作文に多く携わる。高校時代、裏千家主催学校茶道体験論文コンテストにて優秀賞受賞、第18回裏千家ハワイセミナーに招待。京都私学ESS連盟主催英語暗唱大会優勝、英語弁論大会優勝。大学時代、世界遺産「下鴨神社」で十二単王朝舞を学び、名月管絃祭で舞を奉納。現在は京がたりの舞台活動に加え、一般社団法人きものカラーコーディネーター協会認定講師として、きもの・色・ことばに関わる各種レッスンやコンサルティングを、名古屋を中心に各地で開催。きものカラーワークやセルフ和髪レッスンなど、地方や海外からも生徒が訪れる人気講座を運営。  
Instagram → @hiromimatsune

### 藤間勘萃

1958年に名古屋で生まれ、1977年にデビュー。日本舞踊家(宗家 藤間流 名執)/楽師としてNHK「日曜美術館」や「花の舞・花の宴」、養老孟司(東京大学名誉教授)との「以心伝心・以身伝心」、久田舜一郎(小鼓方 大倉流15代宗家)との「秋天の興」など放送や舞台に数多く携わる。作/編曲家として「世界デザイン博覧会」テーマ館音楽、名古屋芸術祭主催公演テーマ曲、関西二期会オペラ、合唱曲「弥陀観音大勢至」(深井丸 興西寺所蔵)、「おとほぎ」(あいちオカリナ フェスタ テーマ曲)、音楽版「浄土真宗 正信偈草四句目下」(光壽山 阿彌陀寺所蔵)などを手掛ける。名古屋音楽大学 音楽学部 作曲学科卒業。日本福祉大学 社会福祉学部を経て、現在、東海学園大学 教育学部にて講師。



ひいさま 藤間勘萃 幻燈館

「鴨川の床涼み」動画を YouTube でご覧いただけます。

QRコードを読み取っていただくか、「ひいさま床涼み」で検索して下さい。



ひいさま 藤間勘萃の  
ホームページはこちら





